

令和3年度

全国学力・学習状況調査結果

(上尾市立小・中学校 概要)

令和3年5月27日実施



— 夢を育み 未来を創る 上尾の教育 —

上尾市教育委員会

目 次

1 学力調査の概要	・・・ 1
2 内容別調査結果の概要	・・・ 2
(1)内容別正答率	
(2)分類・区分別正答率	
【国語】	
【算数】	
【数学】	
3 児童生徒質問紙回答結果 (生活習慣に関する質問事項を中心に抜粋)	・・・ 7
【小学校】	
【中学校】	
4 各教科の正答率の状況及び成果と課題	・・・ 9

1 学力調査の概要

(1) 調査の目的

- ア 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上のため、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育の結果を検証し、改善を図る。
- イ 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関連において自らの教育の結果を把握し、改善を図る。
- ウ 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、教育指導や学習状況の改善に役立てる。

(2) 調査の対象学年

- ア 小学校：第6学年
- イ 中学校：第3学年

(3) 調査期日

令和3年5月27日（木）

(4) 調査対象教科等

- ア 小学校：「国語」「算数」「質問紙調査」
- イ 中学校：「国語」「数学」「質問紙調査」

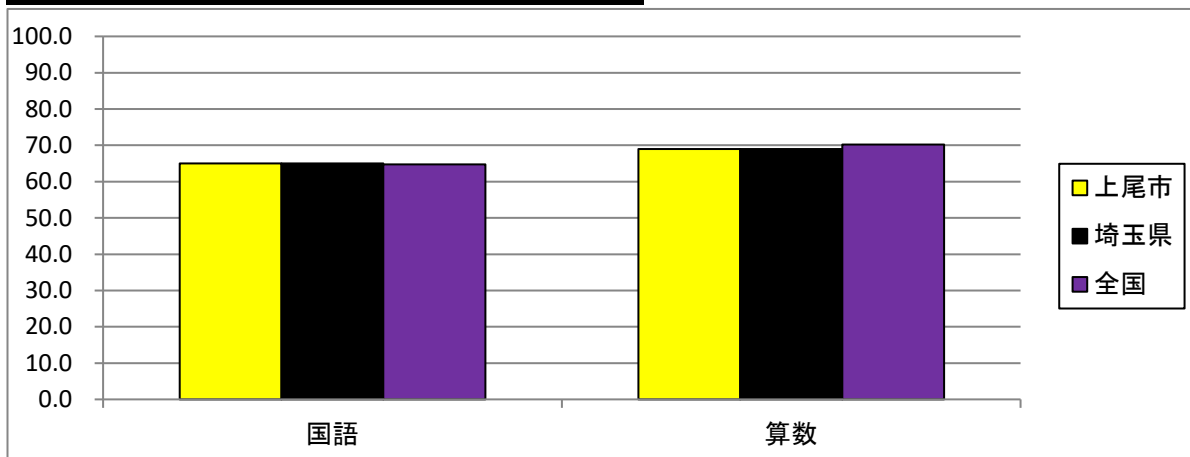
2 内容別調査結果の概要

(1) 内容別正答率

※ 網掛けは、全国の平均正答率を下回っているもの

【小学校第6学年】

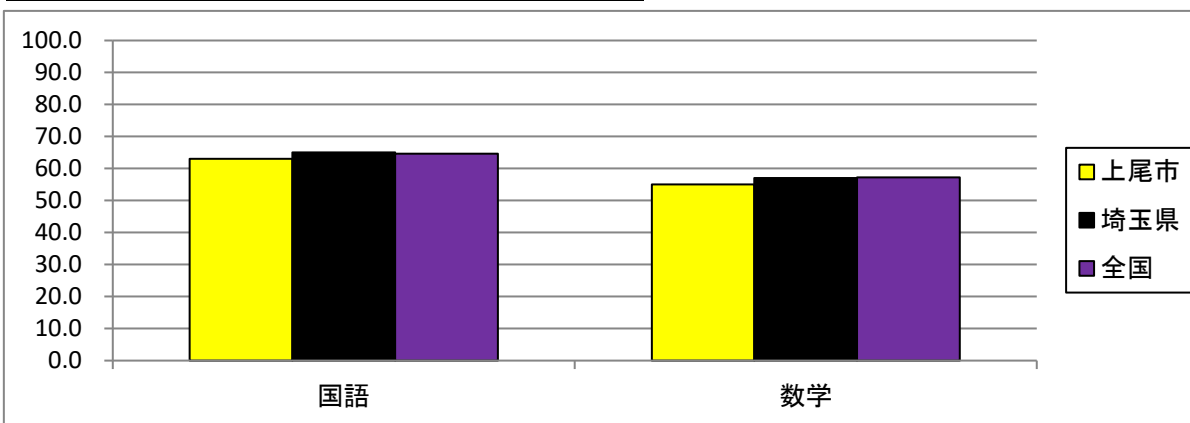
	国語	算数
上尾市	65	69
埼玉県	65	69
全 国	64.7	70.2



国語は、全国の平均正答率を上回っているが、埼玉県とは同値である。
算数は、全国の平均正答率を下回っているが、埼玉県とは同値である。

【中学校第3学年】

	国語	数学
上尾市	63	55
埼玉県	65	57
全 国	64.6	57.2



国語、数学ともに、全国及び埼玉県の平均正答率を下回っている。

(2) 分類・区分別正答率

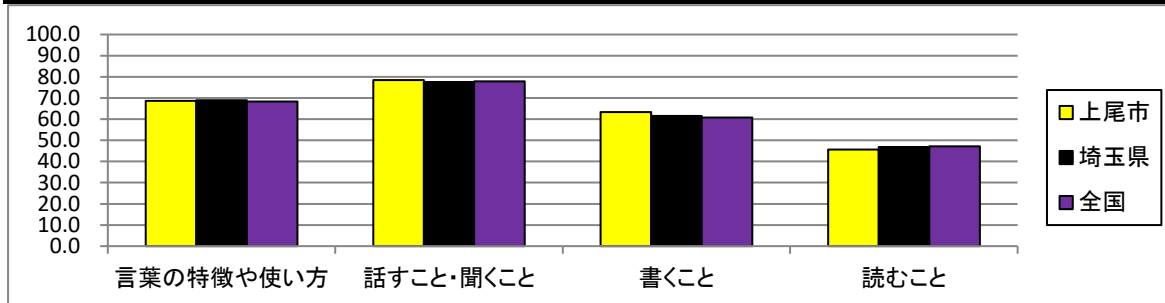
国語

※ 網掛けは、全国の平均正答率を下回っているもの

【小学校第6学年】

《学習指導要領の内容別》

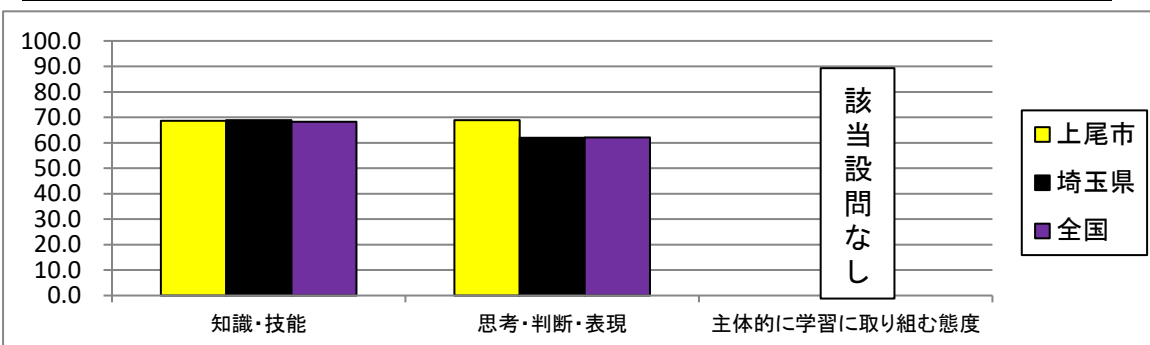
	言葉の特徴や使い方	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
上尾市	68.6	78.5	63.3	45.7
埼玉県	68.9	77.5	61.6	46.8
全国	68.3	77.8	60.7	47.2



「読むこと」以外は全て全国の平均正答率を上回っている。ただし、「言葉の特徴や使い方」に関する事項については、埼玉県の平均正答率を下回っている。

《評価の観点別》

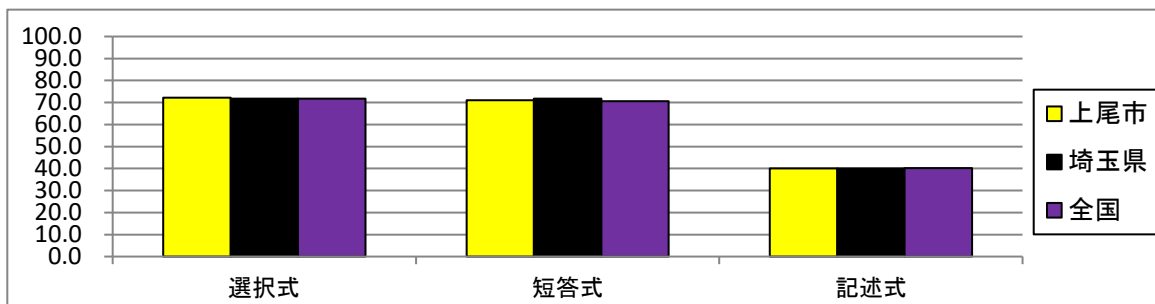
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
上尾市	68.6	62.4	-
埼玉県	68.9	62.0	-
全国	68.3	62.1	-



「知識・技能」「思考・判断・表現」のどちらも全国の平均正答率を上回っている。「知識・技能」については埼玉県を下回っている。

《問題形式別》

	選択式	短答式	記述式
上尾市	72.2	71.0	40.0
埼玉県	71.8	71.7	40.1
全国	71.7	70.6	40.2



「選択式」は全国及び埼玉県の平均正答率を上回っているが、「短答式」は埼玉県の平均正答率を下回った。また、「記述式」は全国及び埼玉県の平均正答率を下回っている。

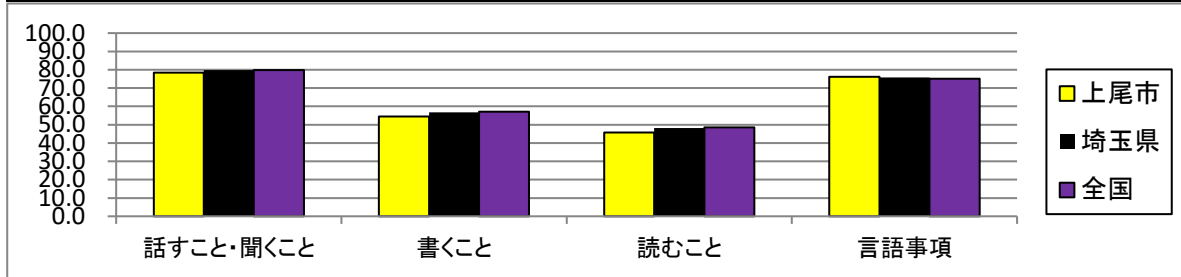
国語

※ 網掛けは、全国の平均正答率を下回っているもの

【中学校第3学年】

《学習指導要領の領域等別》

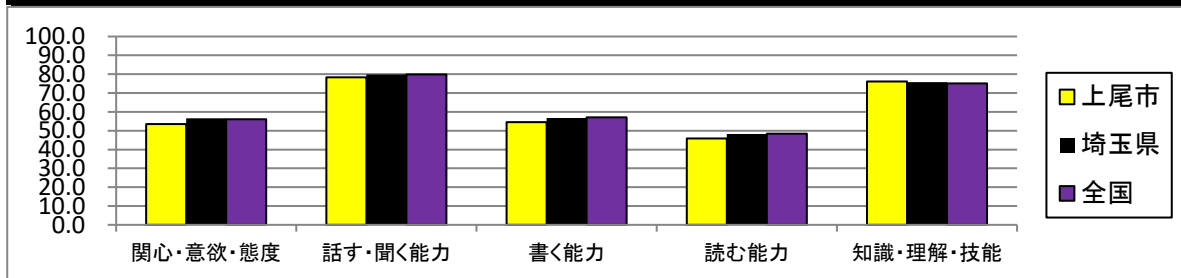
	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項
上尾市	78.4	54.5	45.8	76.2
埼玉県	79.8	56.7	48.2	75.8
全国	79.8	57.1	48.5	75.1



「言語事項」は、全国及び埼玉県の平均正答率を上回っている。しかし、それ以外の項目については、いずれも全国及び埼玉県の平均正答率を下回っている。

《評価の観点別》

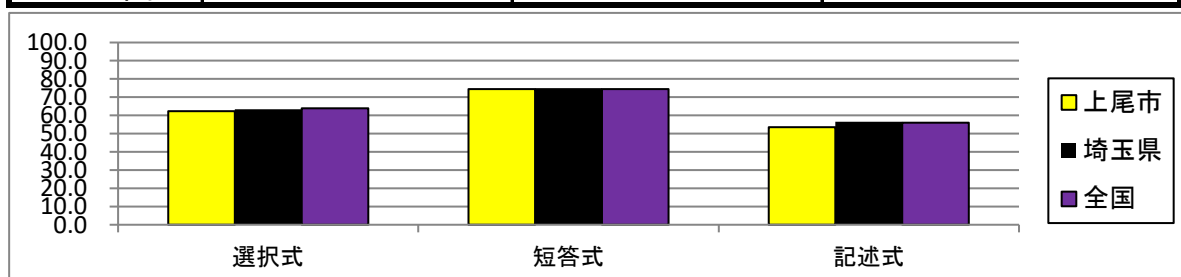
	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解・技能
上尾市	53.6	78.4	54.5	45.8	76.2
埼玉県	56.5	79.8	56.7	48.2	75.8
全国	56.0	79.8	57.1	48.5	75.1



「知識・理解・技能」は、全国及び埼玉県の平均正答率を上回っている。しかし、それ以外の項目については、いずれも全国及び埼玉県の平均正答率を下回っている。

《問題形式別》

	選択式	短答式	記述式
上尾市	62.3	74.5	53.6
埼玉県	63.3	74.9	56.5
全国	63.9	74.4	56.0



「短答式」は、全国の平均正答率を上回っているが、埼玉県の平均正答率を下回っている。「選択式」及び「記述式」については、全国及び埼玉県の平均正答率を下回っている。

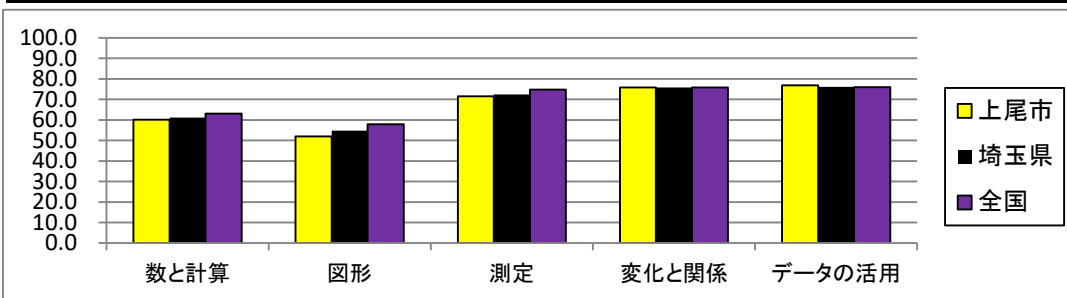
算数

※ 網掛けは、全国の平均正答率を下回っているもの

【小学校第6学年】

《学習指導要領の領域別》

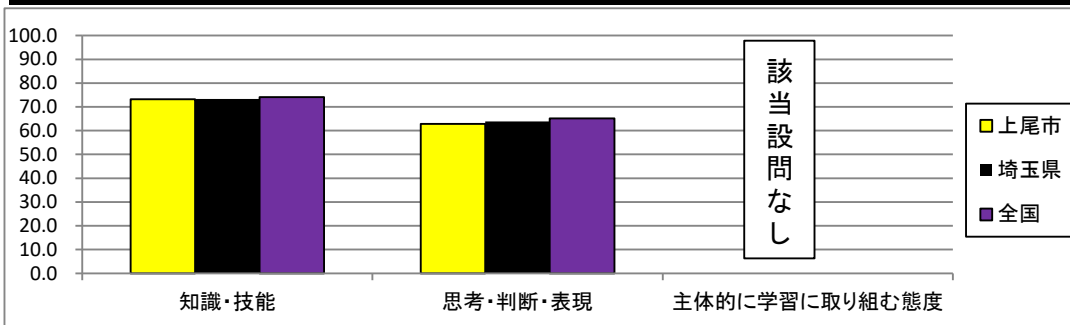
	数と計算	図形	測定	変化と関係	データの活用
上尾市	60.1	52.0	71.5	75.8	76.9
埼玉県	61.2	54.8	72.5	75.8	76.2
全国	63.1	57.9	74.8	75.9	76.0



「データの活用」では、全国及び埼玉県の平均正答率を上回った。ただし、その他の全ての領域で全国及び埼玉県の平均正答率と同等か、下回っている。

《評価の観点別》

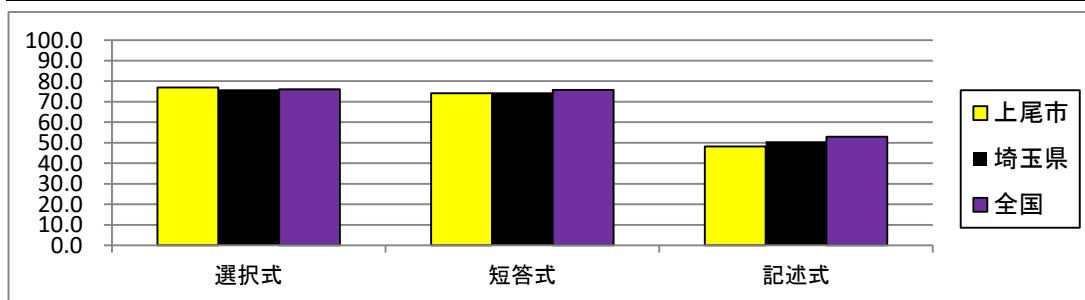
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
上尾市	73.2	62.9	—
埼玉県	73.3	63.9	—
全国	74.1	65.1	—



「知識・技能」「思考・判断・表現」について、全国及び埼玉県の平均正答率を下回っている。

《問題形式別》

	選択式	短答式	記述式
上尾市	76.9	74.1	48.2
埼玉県	76.0	74.6	50.7
全国	76.0	75.8	53.0



選択式では全国及び埼玉県の平均正答率を上回っている。その他の項目では、全国及び埼玉県の平均正答率を下回っている。

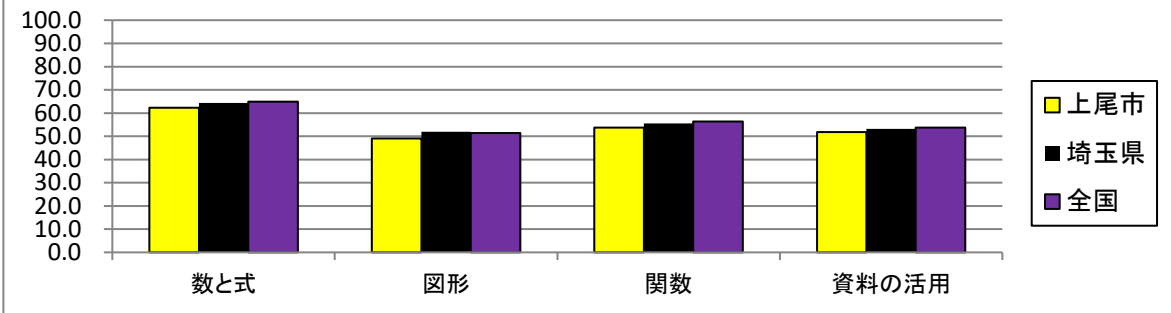
数学

【中学校第3学年】

※ 網掛けは、全国の平均正答率を下回っているもの

《学習指導要領の領域別》

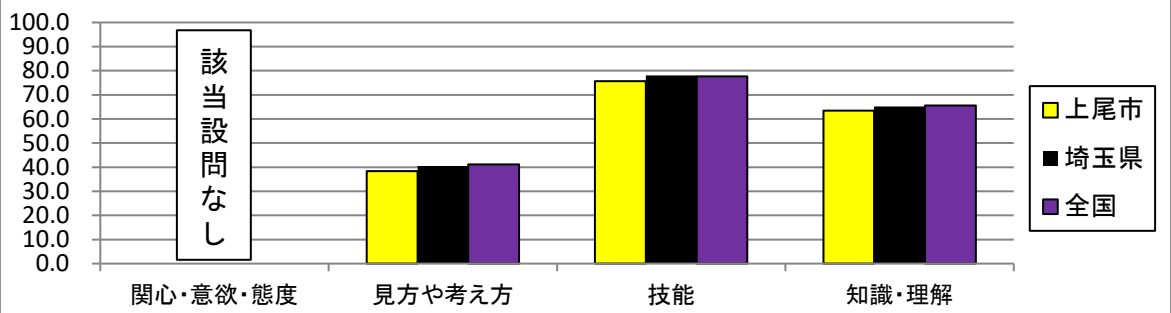
	数と式	図形	関数	資料の活用
上尾市	62.3	49.0	53.7	51.8
埼玉県	64.3	52.0	55.5	53.2
全国	64.9	51.4	56.4	53.8



全ての領域において、全国及び埼玉県の平均正答率を下回っている。

《評価の観点別》

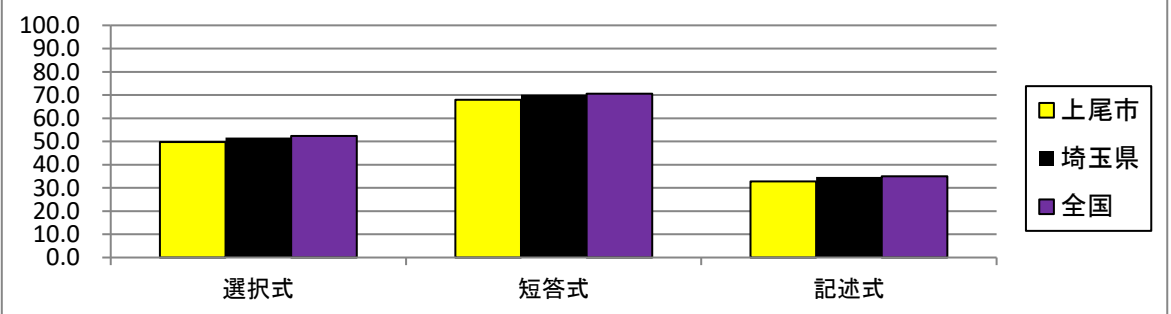
	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	技能	知識・理解
上尾市	-	38.3	75.6	63.5
埼玉県	-	40.5	78.1	65.2
全国	-	41.1	77.7	65.6



全ての観点において、全国及び埼玉県の平均正答率を下回っている。

《問題形式別》

	選択式	短答式	記述式
上尾市	49.7	68.0	32.8
埼玉県	51.7	70.2	34.7
全国	52.4	70.5	35.0



全ての問題形式において、全国及び埼玉県の平均正答率を下回っている。

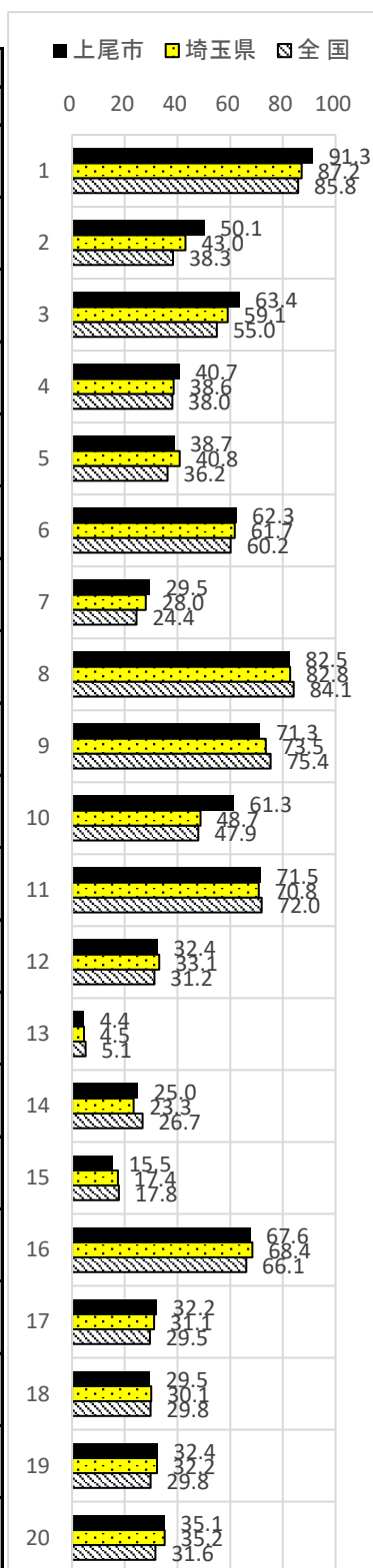
3 児童生徒質問紙回答結果(生活習慣に関する質問事項を中心に抜粋)

※ 網掛けは、全国の平均回答率を下回っているもの

【小学校(第6学年)】

平均回答率(%)

番号	質問事項	「はい」と答えた児童		
		上尾市	埼玉県	全国
1	朝食を毎日食べていますか	91.3	87.2	85.8
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	50.1	43.0	38.3
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	63.4	59.1	55.0
4	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、 家の人と約束したことを守っていますか。	40.7	38.6	38.0
5	自分には、よいところがあると思いますか	38.7	40.8	36.2
6	将来の夢や目標を持っていますか	62.3	61.7	60.2
7	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。	29.5	28.0	24.4
8	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	82.5	82.8	84.1
9	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	71.3	73.5	75.4
10	学校に行くのは楽しいと思いますか	61.3	48.7	47.9
11	友達と協力するのは楽しいと思いますか	71.5	70.8	72.0
12	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)	32.4	33.1	31.2
13	新聞を読んでいますか	4.4	4.5	5.1
14	今住んでいる地域の行事に参加していますか	25.0	23.3	26.7
15	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	15.5	17.4	17.8
16	学校の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	67.6	68.4	66.1
17	これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか	32.2	31.1	29.5
18	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか	29.5	30.1	29.8
19	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか	32.4	32.2	29.8
20	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか	35.1	35.2	31.6



○「朝食を毎日食べている」「同じ時刻に寝たり起たりする」項目において、全国及び埼玉県平均を上回っており、生活習慣の確立が図られていることがうかがえる。

○「学校に行くのは楽しい」と思う割合が全国及び埼玉県平均を大きく上回っており、充実した学校生活を送れていることがうかがえる。

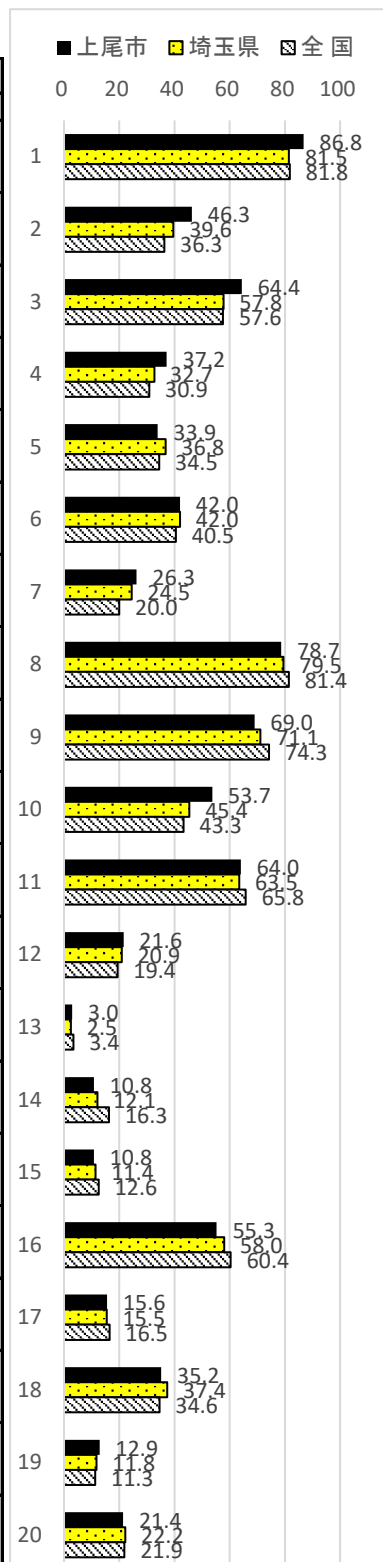
○いじめに対する意識、人の役に立つこと、新聞への関心の低さに特に課題が見られる。

※ 網掛けは、全国の平均回答率を下回っているもの

【中学校(第3学年)】

平均回答率(%)

番号	質問事項	「はい」と答えた児童		
		上尾市	埼玉県	全国
1	朝食を毎日食べていますか	86.8	81.5	81.8
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	46.3	39.6	36.3
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	64.4	57.8	57.6
4	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。	37.2	32.7	30.9
5	自分には、よいところがあると思いますか	33.9	36.8	34.5
6	将来の夢や目標を持っていますか	42.0	42.0	40.5
7	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。	26.3	24.5	20.0
8	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	78.7	79.5	81.4
9	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	69.0	71.1	74.3
10	学校に行くのは楽しいと思いますか	53.7	45.4	43.3
11	友達と協力するのは楽しいと思いますか	64.0	63.5	65.8
12	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)	21.6	20.9	19.4
13	新聞を読んでいますか	3.0	2.5	3.4
14	今住んでいる地域の行事に参加していますか	10.8	12.1	16.3
15	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	10.8	11.4	12.6
16	学校の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	55.3	58.0	60.4
17	これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか	15.6	15.5	16.5
18	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか	35.2	37.4	34.6
19	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか	12.9	11.8	11.3
20	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか	21.4	22.2	21.9



- 「朝食を毎日食べている」「同じ時刻に寝たり起たりする」「携帯電話・スマートフォンの使い方」に関する項目において、全国平均を上回っており、生活習慣の確立が図られている。
- 将来の夢や目標をもつことや、難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦すること、学校を楽しんでいるという生徒の割合が多く、充実した学校生活を送れていることがうかがえる。
- いじめに対する意識や人の役に立ちたいと思うこと、地域への愛着や自己肯定感の低さ、新聞への関心の低さに課題が見られる。

4 各教科の正答率の状況及び成果と課題

小学校

(1)国語

今年度から調査の観点が変わり、前回と単純に比較することはできないが、全体として前回の調査よりも改善している様子が見られる。前は「書くこと」に課題が見られたが、今回の調査においては、正答率が全国平均及び県平均を上回っている。また、前は「選択式」の問題の正答率が全国平均を下回ったが、今回は上回ることができた。「記述式」の正答率については、前回同様、今回も全国及び県の平均を下回ったが、差が大きく縮まっている。一方で、「読むこと」の正答率においては、前回の調査では全国平均と同じ正答率であったが、今回の調査では全国及び埼玉県を下回っており、課題であると言える。

(2)算数

今年度から調査の観点が変わり、前回と単純に比較することはできないが、全体としてはやや改善傾向にある。内容別正答率で見ると、前回の調査では埼玉県の平均正答率を下回っていたが、今回は同数値となっている。全国の平均正答率に対しては、前回同様下回っているものの、前回よりも差は縮まっている。分類・区分別に見ると、データの活用において、全国及び埼玉県の平均正答率を上回っており、指導が効果的に指導が行われたと考えられる。一方で、「図形」については全国及び埼玉県の平均正答率との差が大きく、指導の工夫をしていく必要がある。

中学校

(1)国語

前回の調査同様、全国及び埼玉県の平均正答率を下回っている。前回の調査と比べると、全国及び埼玉県の平均正答率との差が大きくなっており、全国の平均正答率との差が1.6ポイント、埼玉県の平均正答率との差が2ポイント開いてしまっている。領域等別に見ると、「言語事項」の正答率が全国及び埼玉県の平均正答率を上回っており、「言語事項」について効果的な指導があったと考えられる。一方で、「書くこと」「読むこと」については、全国及び埼玉県の平均正答率との差が大きくなっている。特に、書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書くことや、文章に表れているものの見方を捉え、自分の考えをもつことについては、指導を工夫していく必要がある。

(2)数学

前回の調査同様、全国及び埼玉県の平均正答率を下回っている。全国及び埼玉県の平均正答率との差は前回と同程度である。領域別、観点別に見ても、いずれの領域・観点においても全国及び埼玉県の平均を下回っており、課題が大きいと言える。問題別に見ると、与えられたデータから中央値を求める問題については、全国の平均正答率を上回っており、指導の成果が出ている。一方で、データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する問題については正答率が大変低くなっており、事象を数学的に表現・処理する技能を身に付けられるよう指導を充実させる必要がある。

まとめ

全体を通して見ると、小学校でわずかな上昇は見られたものの前回の調査とほぼ同様の結果といえる。一方で中学校の国語については、前回の調査よりも全国及び埼玉県の平均正答率との差が広がっていることから、指導の在り方を見直し、改善していく必要がある。新学習指導要領の趣旨をそれぞれの教員が理解し、指導事項を明確にして指導することで、生徒に確実に資質・能力を育てていくことが大切である。質問紙の結果を見ると、学校や家庭での基本的な生活習慣の確立については、小・中学校ともよい結果が出ており、成果が出ていると言える。家庭とも連携しながら、学校全体でPDCAサイクルを確立し、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立って、教科横断的に授業改善を図ることが大切である。